



君とは無理

米内山陽子
ver.1.000

登場人物

坂下成行（サカシタナリユキ） 角田家三姉妹の幼馴染み

辻内一実（ツジウチヒトミ） 嫁に行った長女

角田五十鈴（スミダイスズ） 独立した次女

角田百子（スミダモモコ） 家を守る三女

角田穰（スミダユタカ） 蒸発した父

■ 舞台

角田家。

角田三千代の一周忌のあと。

夕方。

居間に卓袱台。

その上にはカセットコンロ、土鍋。

何か鍋が作られているようだ。

■ あらすじ

角田さんところには三人のお嬢さんがいますよ。

お嫁に行っちゃったヒトミさん。

どっかの会社でがんばってるイスズさん。

市役所で働きながらおうちを守ってるモモコさん。

あそこのお嬢さん達はとっても仲良し。

ちようど一年くらいまえかしらね、お父さんが蒸発なすって。

ええ、ドロンですよ。

でね、奥さんがもうしょぼーんとしちゃってね、そのまま亡くなっちゃったんですよ。仲のよいご夫婦でしたからね。

親戚もあまりいないし、お嬢さん達も仲良しだったもんだからね、遺産なんかはもめないで済んだみたいですよ。

よかったわね。

そろそろ奥さんの一周忌になるのかしらね。

そう言えばモモコちゃんが、お隣のナリユキさんと結婚するらしいですよ。お婿に来て下さるんですって。

ナリユキくんてほら、ちょっと色っぽい子がいるじゃない。

ほんと、良かったわねえ。

(角田さんちのはす向かいのおばさん談)

真冬の寂しい一周忌の後の、鍋つつきながらの愛憎劇。

■ 第一幕

夕方。

一実が電話をしている。

一実 うん、大丈夫。大変だったけど。翔太は？ そっか。じゃ泊まってくわ。ありがとう。シンクの下に

カレー、

百子 (声) 火、付けてきてよ

五十鈴 (声) ハイハイ

一実は鍋に火を付ける。

一実 あった？ 悪いけどそれ食べて。よろしくね。はい。

電話の途中で五十鈴がやってくる。一実は電話を切った。

五十鈴 付いてるんですけど。お姉ちゃん優也さんなんだって？

一実 今日ぐらい実家泊まってけだつて。珍しい。

五十鈴 翔ちゃんいいの？ほつたらかしで。

一実 たまには一人にならないとやってらんない。あんたどうすんの？

五十鈴 あたしも泊まる

一実 あつそ。(ふたを開けて)これ何鍋？

五十鈴 なんで

一実 お湯わかしてる。

五十鈴 え？キムチでしょだつて。

一実 え？でいきなりお湯沸かしてんの？百子！これ何鍋にすんの？

百子 (声)キムチー。

一実 あんた順番めちやくちやなんだけど

百子 (声だけで)え、なにー？

一実 だから、キムチ鍋ならキムチを先にごま油で焼いて…(鍋と台所へ)

一実 台所へ

五十鈴は部屋の隅で正座してる成行を見た。

五十鈴　いつまでやってんの。

成行　みんなの気が済むまで…？

五十鈴　ふーん。

成行　ま実際、足の感覚ゼロだよね、今

五十鈴　ふーん

五十鈴は成行の足を触った。成行は悶えた。

そのままからかうように成行の足を触る五十鈴。

絡まる二人。

百子が入ってくる。

百子　ナリちゃん正座

百子はキムチを焼き始める。

五十鈴　いつまでやらせんの

百子 気が済むまでに決まってるじゃん

五十鈴 いつ済むの

百子 あたしが悪いの？

五十鈴 そんなこと言ってない

成行 俺は、いいから

百子 悪いの全部ナリちゃんだから。

成行 ほんともう、その通り。

百子 なにそれ

五十鈴 正座に意味あんの？

百子 じゃあどうしろつての

五十鈴 話し合えばいいじゃん、普通に

百子 あたし五十鈴姉ちゃんどだって話したくないんだよ？

五十鈴 ごめんなさい。

成行 百子、ごめん。俺百子と結婚したいって気持ちは、変わらないから、ほんとに。

五十鈴 よかったじゃん。

百子 じゃあなんで五十鈴姉ちゃんと寝たの。

成行 ごめん

百子 わかっている？わたしのお姉ちゃんだよ？

成行 うんごめんなさい

百子 これが五十鈴姉ちゃんじゃなかったら、許せたかもしれないのに。

五十鈴 あんた以外は別の女でしょ。あたしだろーがだれだろーが。

百子 本気で言っている？ 縁切るって事？

五十鈴 ……どうしても許せないんじゃないよ

百子 お父さん待つんじゃないの？お葬式にも四十九日にも今日だって来なかったけど、お父さん待とうって約束したじゃん。

五十鈴 ……

百子 どうしてナリちゃんとしたの？

五十鈴 ……

成行 俺が！もうそれは、俺が悪い！

五十鈴 成行。

百子 庇っているの！？

成行 違う！

一実が沸いたスープと材料を持ってやってくる。

一実 うるさいよ。

百子 一実お姉ちゃん。

一実 百子顔洗ってきな？ 成行も足崩して。五十鈴一服したら？

百子は台所へ駆け出す。五十鈴は外へ。成行は恐る恐る足を崩す。

成行は上手く足を崩せない。

一実 ん、いい感じ。(鍋にお湯を足し、蓋をする)

一実 なにを企んでんの？

成行 え？

一実 成行のこと、もうずーっと家族みたいって思ってたんだよ？ わたしたち。

成行 うん

一実 百子と結婚したって言ったときは嬉しかったなあ。お父さんがいなくなって、お母さんが死んで、

うちはホントにいいことなかった時だったから、

成行 うん

一実 五十鈴ともしたんだ。

成行 うん

一実 ……なにがしたいの？

成行 優也さんと、赤外線した。今日。

一実 ……

成行 ずっと俺と話してみたかったんだって。翔太、そっくり。

一実 ……

成行 俺が結婚するのは百子だよ

一実 わたしだって旦那も子どもも大事よ。

一実 は成行を見た。成行も一実を見た。

成行 やっぱりひーちゃんが一番似てる。

成行は一実にキスをする。一実は成行を拒んだ

成行 足いてえ

一実 …やめてよ

成行 …

一実 やめてよ。わたしもうこういうのいらないよ

成行 いらないの

一実 いらない。めんどくさい。わたしは、幸せなの。もういらないの。二度としないって決めたの。

成行 やっぱり似てる。ひーちゃんが一番似てる

一実 …なに？

成行 三千代さん

一実 …お母さん？

成行 なんで死んじゃったの？

成行は一実の顔をしげしげ眺めちよっと泣く。一実はどん引き。

鍋のお湯は沸く。

一実は鍋に材料をドンドン追加してゆく。成行はドンドン泣けてくる。

一実は鍋に材料を入れ終えてしまうと、もうすることがなくなつた。

試し読みしていただけるのはここまでです。

この続きは商品をご購入の上ご覧下さい。

君とは無理（おためしサンプル）

2011年12月17日 初版発行

著 者 米内山陽子 © 2011年

発行者 石村寛之

発行所 有限会社レトロインク

〒181-0001 東京都三鷹市井の頭4-26-7

電話 0422-49-2903
